

# Japan Region



Vol.11 No.2

Jan 1993

# 目 次

## *Table of Contents*

*Vol.11/No.2,Jan.1993.*

日本リージョン会長新春メッセージ	Message from Japan Region President	1
1991～'92本部役員会報告	Report of the Board of Directors, 1991～'92	3
資格認証委員会	Acreditation Committee	5
指名委員会	Nominating Committee	5
広報委員会	Public Relations Committee	6
長期方針研究委員会	Long Range Planning Study Committee	6
ITC基金委員会	ITC Endowment Committee	7
日本リージョンITC基金表彰	Award for Endowment	7
役員からおめでとう	New Year's Greetings	8
1992年度標準会則の変更	Changes of Standard Bylaws, 1992	10
海外通信	Letters from ITC	13
ライティングコンテスト案内	Information of Writing Contest	14
ライティングコンテスト優勝者のひとこと	Words from Writing Contest Winners	15
ITCコンベンションのビジネスセッションへの招待	Let's Attend the Business Session at Convention	16
議事法Q&A	Q&A from Parliamentarian	17
訃音	Remembrance	18
リージョン・サロン	Region Saloon	19
あれこれ	Please read !	20
第11回リージョン大会のお知らせ	Information of Japan Region 11th Annual Conference	21
大会プログラム予定表	Region Conference Program Plan	22
プログラム・教育委員会	Program-Education Committee	23
教育セッション一覧表	Training Session Program	24
教育セッション申込券	Training Session Tickets	26
大会準備委員会	J.R. Annual Conference Committee	27
登録・食事予約申込書	Registration & Meal Reservation Form	28
ホテル宿泊申込書	Hotel Reservation Form	29
観光・交通案内	Sightseeing & Traffic Guide	30
リージョン・ミニレター	Region mini-letter	31

---

# 日本リージョン会長新春メッセージ

---

Message from Japan Region President

---

## 笑う門には福来たる



日本リージョン会長 星野佐登

新しい年を迎え、今期の活動も後半に入ろうとしております。会員の皆様方は夫々の目標に向かってお元気にご活躍のことと思います。日本リージョンも皆様のご協力により、リージョンメールの発送、CMTの開催と大変スムーズに前半を過ごせましたことを感謝いたしております。

年が改まり、いよいよ大会にむけての準備に心忙しくなってきました。ホステスカウンシルのNo.6では今期の目標である事務処理の合理化を踏まえて、種々の申し込み方法に工夫をこらす等、着々と準備を進めてくださっています。

今年度のリージョン大会のテーマは「和顔・愛語」と決まりました。穏やかな顔つきで他人を傷つけない言葉を用いて対話をするということで、日本を代表する古都・京都にふさわしい和やかな大会にしたいという願いを込めました。大勢の方のご参加を期待しております。

カウンシルが八つに分割してから5年たち、第一回例会に公式訪問をした役員員の報告によりますと、夫々のカウンシルが独自の信念を持って運営がなされ、カウンシル毎の特徴が出てきたようで大変頼もしく嬉しく思いました。

COMMUNICATOR No.1 1992-1993の「事実か、創作か？迷信か、しきたりか？」という頁をお読みになりましたか。「絶対そうしなければならないということは殆どありません。会員の必要に応じた変更は殆どの場合可能です。」と書かれています。しかし「疑わしい場合は、きちんと調べてください。」とも書かれています。正しい知識を身につけ、夫々の個性を大切に伸ばしながら特徴あるクラブ・カウンシルの集まりでありたいと思います。

1992年は日本にとって景気低迷の暗い年でした。しかし日本リージョンでは次々と新クラブが誕生し、下降線をたどる世界のITCの中で何故日本だけがと不思議がられています。それは増設委員を中心とした会員の努力と、几帳面な国民性によるものと思われませんが、今年もPREMチームとして無理のない活動を推進していきたいと思ひます。「笑う門には福来たる」新年にふさわしいこの言葉をモットーに、今年も明るい希望を持って進みましょう。

# Happiness Comes to a Laughing Gate

Sato Hoshino, Japan Region President

As we welcome this new year, we enter the second half of this term activities. During the first half of the term I hope all of you have been well and have made progress on your individual goals. With your help our work in the Japan Region with CMT and mail to the clubs progressed very smoothly.

With the coming of the new year we must work very hard to continue to prepare for the Region Conference. Hostess Council No.6 has been trying to simplify the office work, and I hope this will make processing the large volumes of paperwork associated with the Conference simpler.

The theme of this year's Conference is decided to be "Peaceful Face · Kind loving words" (Wagan · Aigo). This means conversing with kind words and a cheerful, peaceful face. Since we will have the Conference in Kyoto, the old capital, I think this theme is very appropriate. I am looking forward to having as many members attend the Conference as possible.

It has been 5 years since the Council was divided into 8 groups. According to the reports from the board members who officially attended the first meeting of each Council, I understand that each Council has been operated with their own beliefs. I am very pleased to see that every Council has been nurturing its own character.

Have you read the article, "Fact or Fiction? Myth or Tradition?" in Communicator No.1 1992-93? It says, "Very few things are absolute. Very few things cannot be changed to meet members' needs." But it also says, "When in doubt, check it out." I would like all of the clubs to be knowledgeable, self-sustaining individual groups.

While world wide membership in ITC declined, the Japan Region had new clubs formed one after the other in 1992. This was despite 1992 being a disastrous year economically in Japan. "Why Japan?" is everybody's question. One of the reasons is rooted in the efforts and endeavors of the membership committee and in the national character of punctuality. I hope the PREM team will continue to work hard to recruit new members. I chose this "Happiness Comes to a Laughing Gate" as this new year's motto. Let's have a cheerful future together!

## ○10周年記念事業委員会より

10周年記念沿革史は、11月30日を以て日本リージョンの全会員に無料配布を完了いたしました。

12月1日以降は有料配布となり、資料委員会の扱いになります。

価格 500円

申込先：各カウンスル資料委員会

※お問い合わせ、申し込みは必ず通信でお願い致します。

## ○クラブ会計にはベテランを

組織が大きくなり、会員数も増加して、会計の仕事は大変繁雑になっています。全会員の貴重な財産を預かるリージョン会計・事務局経理は正確を期して、細かい会計の仕事に取り組んでいますが、会計を悩ませるのは間違っただけで届く各クラブ・カウンスル会計からの送金です。間違いさえなければ繁雑さはグッと緩和される筈です。リージョンだけで口座が二つ、そしてカウンスルの口座と三つの口座に振り込みを分けるクラブ会計の仕事は大変だと思いますが、夫々から期の始めに送られてきている書簡をもう一度読み返して間違いのないようお願いいたします。

ITC国際本部でも間違いの多さに辟易されたのか、以前、コミュニケーターに“新人を会計にしないでください”という記事が載っているのを読みました。全く同感です。組織をよく理解している会計を選ばれることをお勧めいたします。

星野佐登

# 1991～'92年度ITC役員会報告

## Report of the Board of Directors

(コミュニケーター1992年9・10月号より転載)

法人組織条項とITC会則・常規の規定ならびに大会出席者の指示に基づき、ITC役員会は今期次のような活動を行ないましたので、ここに報告いたします。

### 会合

アニタ ヘンツラー会長の指揮のもとに、ITC役員会は三回の会合と一回の通信による会合を持った。会合はワシントンD.C.、カリフォルニア州アナハイム、テキサス州サンアントニオで開かれた。実行委員会は通常役員会と共に行ない、他に1月にITC本部で持ったものと合せて五回の会合を開いた。

### 長期計画

アニタ ヘンツラー会長の年間テーマである「明日の人生は今日にかかっている」を念頭に、役員会は次の長期計画を定めた。

1. 世界にITCの名声と影響力を広め高める、という新しい目的を実行に移すために事務局スタッフ1名を雇う。

現状：財政的に可能になれば直ちに実行する。

2. 1995年6月30日までに、会員を21,000人とする。  
現状：1991年8月1日から1992年6月30日までに、2,889人の新会員を得た。

1992年6月30日現在、全会員数は16,409人。

3. 1995年6月30日までに、No.3650のチャーターを済ませる。

1992年6月18日現在でNo.3558を発行した。1991年8月1日から現在まで34クラブがチャーターした。日本が8クラブ設立で最高、次がターコイズ・リージョンの3クラブ設立である。

### 任務宣言

10月会合において次のITC任務宣言が役員会で採択された。

「ITCの任務は、伝達技術と指導力の養成における質の高い訓練を促進し供給するための世界のリーダーとなることである。」

### 特別構造研究

この委員会は1990年7月に任命され、現在その任務を完了した。この組織をより効率的に運営してゆくための数件の要請が提出された。これらの要請に効力を持たせるために、会則修正案として提出され大会において検討された。

### リージョン運営研修 (RMT)

運営技術を磨くことに重点をおいて行なわれ、

それに関する資料の最新のものを確認した。

RMT・段階Iは、各々のリージョン大会で国際役員によって行なわれた。この訓練の続きである折衝技術の訓練はRMT・段階IIとして、大会直前にリージョン役員と委員会委員長を対象に行なわれた。

### 広報

この委員会の一番の目標は、増設委員長、会員委員長と共同して活動することであり、PREMチームとして機能することにあった。各リージョンでPREMチームを作ることを奨励し、少なくとも今期一回は大々的な広報活動を行うよう要請した。いくつかのリージョンで成功裡にこの活動が行われたと報告されている。

### PREM活動

3通のPREMニュースレターが、リージョン会長、広報、増設、会員の各委員長に送られた。この三委員長はひとつのチームとなって活動するよう奨励され、すでにPREMチームの機能を持ったリージョンがいくつか出来ている。

### 増設

増設増強誌と増設の表彰は中止することとなった。増設功労者に与えられるNo.1のピンは、今期46個、各リージョン大会で国際役員によって授与された。

### ヨーロッパへの広がり

ヨーロッパ増設委員長エドナ チャップマンによって29番目のリージョンが作られた。第一回のリージョン大会はアニタ ヘンツラー会長出席のもとに、オランダのウースターピークで開かれた。

### リージョンの変更

デキシー リージョンは、会員の投票により1992年8月1日を以て消滅した。1カウンスルが無所属カウンスルとなり、他のクラブはサンシャイン リージョンへ移籍した。ターコイズリージョンは、会員の投票により、1992年8月1日よりメキシコの全クラブを統合してメキシコリージョンを設立し、在米のクラブはターコイズとして存続する。

### リージョン オブ ザ イヤー

“リージョン オブ ザ イヤー”の競争は、今期も必要条件を改訂して引き続き行うこととした。

## 会 員

ITC本部は“ITC-It's Up To Me!”(ITC-それは私次第!)を三回発行し、会員募集ニューズレターとして効果的であった。

“星ピン・スーパースター”は一年間に5人以上の会員を集めた会員に贈られる。又、一人紹介した会員は“リクルーティングスター”の襟ピンが贈られる。1992年6月30日現在、24個のスーパースターピンと、1,846個のリクルーティングピンが贈られた。現在ITCには44名の準会員と37名の二重会員がいる。

## コミュニケーション ダイナミックス

今期の大会において、コミュニケーションダイナミックスの訓練は行われず、この委員会は来期継続しない。

## 基 金

1996年が期限となっている不動産抵当の貸付証を、その年に無事焼却させるための基金“Light the Flame”という新しい企画がなされた。これまでに627個の寄付のピンを買っていただいた。基金委員会は大会に於ても活動し、全会員の協力を呼びかけた。

1991~'92年度の基金募集目標額は10万ドルで、6月30日現在、50,579.44ドルが集められた。この内、28,669ドルが建設資金、238ドルが教育開発費という名目で寄付された。

## 出 版

教育資料も含めたITC出版物の詳細な見直しが行き続き行われている。今期出版の最新教育資料は次の通り:

- Na503 例会ABC
  - Na508 議事法の基本情報
  - Na555 郵便による委員会
  - Na519 ファクトシート
  - Na527 議事法ゲーム
  - Na544 会員募集と会員保持
  - Na551 広報活動とその目標
  - Na569 パーラメンタリアンの活動領域と責任
- グリーソン編の議事法ダイジェストは改訂され、来期ITC議事法マニュアル(Na118)と入れ替えるべく現在作業が行われている。

## 資料認証

1992年6月30日現在、今までの取得者と合計し各コース取得者は次の通り:

コース I	2,524名
コース II	764名
コース III	435名
コース IV	123名
コース V	27名

## 今後の大会予定地

- 1993年 カナダ アルバータ州エドモントン  
エドモントンコンベンションセンターにて
- 1994年 北米 ペンシルバニア州ピッツバーグ  
ピッツバーグヒルトン&タワーズホテルにて
- 1995年 北米 カリフォルニア州サンフランシスコ  
ハイアットトリージェンシー エアポートホテルにて

## 本部事務処理

ITC本部は、事務局長ミュリエル プライアントの管理のもとに滞りなく運営されている。6名のフルタイムの職員が引き続き従事している。

資料目録に新しく加えられたものと、この大会のITC売店で売られたものは次の通り:

- Na350 1992~'93年度カレンダー(行事ステッカー付)
- Na318 三色ハイライター
- Na347 ホチキスピン起し
- Na446 罐・ピン空き器付きキーホルダー
- Na355 ポケット消しゴム
- Na356-A 花の種: 忘れな草
- ” B ” : 大輪マリーゴールド

## 財 務

私達の投資内容及び計画は、常時注意深く事務局長のミュリエル プライアントによって管理・検討されている。その結果、資本所得ならびに配当・利子は引き続き増大している。1992年5月31日現在、所得20,047ドル、配当・利子収入28,512ドルである。1992年7月31日に終了する会計年度の報告はITCコミュニケーター1・2月号に掲載される。

## 運営一般

1991~'92年度、ITC各委員会の委員長として又委員として働いて下さった方々に、ITC役員一同心より御礼申し上げます。この大会の昼食時にこの方々は讃えられた。1992-'93年度ITC委員の任命は、4月の役員会で行われ大会時に掲示された。

## 感謝をこめて

ITC役員は1991-'92年度期に会員の皆様のお役に立てたことを光榮に存じます。「明日の人生は今日にかかっている」ことを自覚しながら、アニタ ヘンツラー会長の良きご指導を得て、役員一人ひとり献身的に働いた一年でした。

ジューン M. ラッセル, D.C.  
書記・会計

## 資格認証委員会

Accreditation Committee

### 日本リージョンにおける 資格認証の現状と課題

委員長 高橋 美枝子

会員数1,687人の日本リージョンにおいて今年の4月30日現在で369人が第1課程、71人が第2課程、9人が第3課程、5人が第4課程を終了し、合計454人に認証状が授与されております。カウンスル別では、No.6の84人が最も多く、次がNo.3の79人、最も少ないのはNo.8の14人、次に少ないのがNo.4の34人です。

資格認証に関する第一の問題は、クラブ間の取り組みの違いです。設立10年を経ているも1人しか取得者がいないクラブもありますが、設立7年で取得者が20人以上のクラブも2つあります。これはカウンスルとリージョンの資格認証委員会の現状把握と理解に基づく指導の不足によるものと思います。

第二の問題は、新設クラブの資格認証に対する理解の不足です。設立2年以上、4年以内の15クラブで第1課程の取得者が1人しかありません。第1課程は70時間で取得できるという目安が示されております。内容的に見て、早ければ2年、遅くても3年で取得できるはずですし、クラブのプログラムがそのように企画される事が望ましいのです。これもまたカウンスルとリージョンの資格認定委員会の指導の不徹底による増設に際しての説明の不足が原因と思われます。この2点を中心に1年間活動する計画で、現在、活動するための資料を整えつつあります。



## 指名委員会

Nominating Committee

### 役員、指名委員選出に ご協力を

委員長 長尾 妙子

今期のリージョン大会は、1993年6月3・4日京都において開催されます。

この大会では次期役員、指名委員の選挙が行われますが、各クラブは候補者名を選挙の90日前、即ち3月6日迄に、リージョン指名委員会へ提出することになっております。

すでに昨年11月送付のリージョンメールに次期役員、指名委員候補者名を提出する通知及び要請が同封されておりますので、ご承知のことと思います。

クラブは、リージョンで活躍できる有能な会員を候補者として推薦して下さい。

クラブで推挙された会員は憶することなく、自己啓発を実践する絶好の機会として、積極的に推薦をお受け下さい。

日本リージョンは、過去10年余、歴代の優れた指導者のもと、会員のチームワークによって、今日の見事な繁栄がもたらされました。更に21世紀にむけて、飛躍、充実させるためにも、活力あるニューリーダーが求められています。

クラブ会長は上記候補者選出について、クラブ例会で十分に審議して下さい。そして11月リージョンメール同封の「指名書」に記入の上、3月6日までに、指名委員会宛にご送付下さい。

なお、上記候補者の資格につきましては、リージョン会則をお読み下さい。会員の熱意あるご協力を期待しております。

## 広 報 委 員 会

Public Relations Committee

### みんなが広報委員

委員長 総谷 英子

今 日本人は人生80年時代を、如何によりよく生きるかと、さまざまな試みがなされています。生きがいづくり、生涯教育等々。

ITCは、こうした時代の要求に充分に応え得るプログラム、教育資料を持っています。

その豊富な資料を活用し、会の運営やコミュニケーション技術のみがいて、素敵な人材が育っています。

今期は、こうしたITCを、国、県、市、町、村等公的機関、会社、各種団体、マスコミ関係などに広めてゆきたいと考えます。しかしこうした動きは単に、広報委員会のみの働きではなし得ることはありません。会員の皆様一人ひとりが広報委員であり、一人ひとりのそれぞれの地域での行動が、即ち広報活動なのだとの自覚をもっていただけるような、内なるPRをししたいと思います。

「人の生き方は、その人の内なる豊かさを反映する」と言われていますが、組織も同じで、メンバー個々が個性豊かに輝く時、その組織も豊かに育ち、大きく飛躍するでしょう。

今期リージョン広報委員会は、各カウンスルの活動の成果を集めて、全会員の皆様に、その輝かしい活動ぶりをご披露させていただけるものと期待しています。

## 長期計画研究委員会

Long Range Planning Study Committee

### より良い方向を 見いだす為に

委員長 三宮 晶子

この委員会は、日本リージョンの将来を考え、より良い方向を見いだす事を目的としています。今期、役員会より与えられたテーマは、長期目標の一つである日本リージョンの分割についての研究です。

日本リージョンの現状を次の様な項目について分析していく事にしました。会員数、世界リージョンの会員数との比較、クラブ、カウンスルの地理的分布、役員会の運営、事務局の運営、大会の運営そして分割についての事務的手順等です。

もしリージョンが二つになっても、事務局は一つで運営されます。分割するか否かは採決により、会員の2/3の賛成によって決まります。将来の事を考慮にいれながら委員会として意見をまとめていく予定です。

組織が大きくなるに従って、運営の方法も実態に則したものに変わっていくでしょう。会員もそれに協力してShape Upをはかっているかなければならないと思います。

リージョンがより良い将来を迎えるために、皆で考えてまいりましょう。会員の皆様のご意見をお待ちしております。



# ITC 基金委員会

ITC Endowment Committee

## ご協力をお願い

委員長 泉 和子

皆様、ITC基金に毎年ご協力をいただき有難うございます。1968年に設定された此の基金は現在もなお、教育備品や本部建物のために大いに活用されております。

今回はイルマ リー スミス委員長のもとに、カナダ エドモントンで開かれる世界大会に於て、全リージョンから一枚ずつ集められた素敵な染め絵やアップリケ等の布地が何らかの形に加工され、いずれ売られるラッフルチケットを買った会員の中からそれらが当たるといふ試みがなされています。ラッフル券は一枚5ドルか、三枚で10ドルです。又、

- 昨年と同様に会員一名につき6ドルのご寄付をお願い致しますと思っておりますが、これは強制ではありません。

- 創立者インナーサークルというのは、100ドルを寄付されると七宝のピンと表彰状が贈られるものです。ふるってご参加下さい。

- 今年も25ドルで「点火のピン」(Light the Flame)活動はつけられます。

- その他、追悼、表彰、又記念を心にとどめるための自由な寄付もお寄せ下さい。

これらの事については、いずれ各カウンスル基金委員長より詳しくお知らせ致しますのでどうぞよろしくお願い致します。



日本リージョンITC基金表彰を受けて

第10期日本リージョンITC基金委員長  
江藤 万里子

この度、昨年度(1991~'92)日本リージョンのITC基金に対し、本部ITC基金委員長から賞状が贈られました。星野リージョン会長に送られたメッセージには、日本リージョンのITC基金に対し絶大な賛辞と感謝がこめられ、この寄付によりITCが大変助かったと記されています。

昨年度は例年のITC基金とインナーサークルに加え、ITC本部設立10周年を記念し、その本部建物が抵当になっている借入金を支払い終えて、貸付証を燃やす火の「点火」のピンが発売されました。会員のみなさまはその趣旨をご理解下さいまして、例年通りの基金に加えてご協力下さいました。



ITC本部と日本リージョンの橋渡しとしてのお役目は、リージョン基金委員長として確かに果たさせては頂きましたが、ご賛同いただきご寄付下さいましたのは会員のみなさまであり、基金委員長として、改めて厚くお礼申し上げます。特に昨年度会長のご指示に従い進めて参りましたITC本部の基金に対する意向を、毎会報でPRして下さいました編集委員の方々、伝達をいち早く各クラブの会員に伝え、期日迄に処理・実行の活動をして下さいました各カウンスル所属のITC基金委員の方々のご苦勞に対し心よりお礼申し上げます。

この度の賞は日本リージョンがITCへの協力度を示した証しであると信じ、この榮譽を贈られたことを嬉しく思います。

# 役員から

あらたまの年始めの  
 こもほぐし、謹んでやりをとすあ

平教を子えりー

美しいことばを優雅に話す

ふしや者で正確に伝える

ことばに感懐を移入して生かす

今年のも標の一つです、が、(月定期)以降の

ことも思ひとおそれおのくります、皆様の協

力を頂し進みますと存じます、ご健康とご活

躍と心よりお祈り致します、伊庭文子  
 日本リジョン次期会長

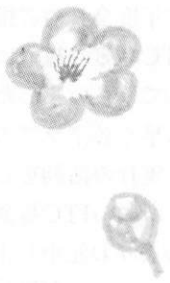
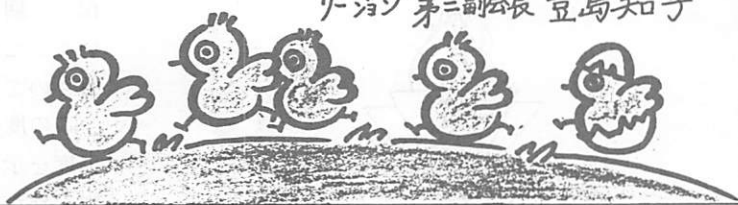


新年おめでとうございませう 1993. 1. 1

ITCのひよこちゃん、元気で仲良く育ってください!

そしてたまごを沢山産んでください! きっと又  
 優秀なひよこちゃんが誕生することでしょう!!

リジョン第二副会長 豊島知子



おめでとう

あけまして  
おめでとうございます

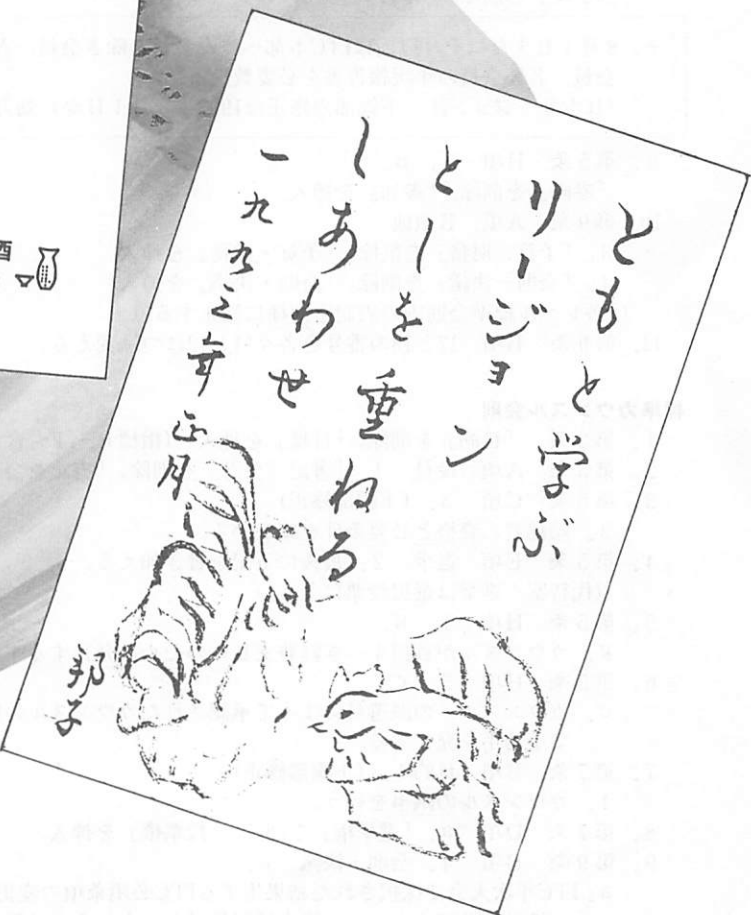
今年はいいこと色とりどり  
とりになって羽ばたこう



平成5年 元旦

酉

初春にワープロ打ちて一人酒  
リージョン書記 近藤みほ子



平成 癸酉 正月

# 1992年度 標準会則の変更及び校正上の修正

会則・決議委員長 宮 寄 雅 子

## 標準クラブ会則

1. II頁 第6条 A項 2. A項を削除。B項を挿入。
2. II頁 第10条を書き加える。  
第10条 カナダ、メキシコ、米国以外のクラブは、それぞれの国で一般的に適用されている議事運営基準を使用する許可をITC役員会に要請することができる。許可された場合、それに応じてこの条項を訂正する。
3. 第2条 3. 「政治、経済、人種、宗教などのいかなる話題にも偏見のない」までを削除。
4. 第4条 C項 「教育アニユマル」を削除。「マスターマニュアル」を挿入。
5. 第4条 J項 「選挙権」を削除。「投票権」を挿入。
6. 第5条 H項 1. 会長はe.  
e. クラブが負担すべき経費支払いのために発行するすべての小切手に連署する。
7. 第5条 H項 5. 会計はc.  
c. クラブの承認を得たクラブの経費支払いのため、会長の連署を得て小切手を発行する。
- ※ 8. 第5条 H項 5. 会計はe.  
「7月31日あるいはそれまでに」を削除。「8月1日またはそれ以前に」を挿入。  
「20ドル」を削除。「30ドル」を挿入。

e. 8月1日またはそれ以前にITC本部へ終身会員を除き会員一人当たり30ドルの会費と、役員、正会員、名誉会員の年次報告書を必要数送る。  
(日本リージョン注：下線部の修正は1993年8月1日から効力を発する。現行は20ドルである。)

9. 第5条 H項 6. b.  
「参画」を削除。「参加」を挿入。
10. 第9条 A項、B項他  
3. 「予算-財務」を削除。「予算・財務」を挿入。  
4. 「会則-決議」を削除。「会則・決議」を挿入。  
(各レベル標準会則内の表記を同様に修正する。)
11. 第9条 B項 12と13の番号を各々11と12につけ変える。

## 標準カウンスル会則

1. 第2条 「目的」を削除。「目標」を挿入。(指標P、Iも含む)
2. 第5条 A項 役員 1. 「書記/会計」を削除。「書記兼会計」を挿入。
3. 第5条 C項 3. (下線部修正)  
3. 候補者の資格と必要条件を確かめる。
4. 第5条 E項 選挙 2. 最後に下記を書き加える。  
(代替案：選挙は選択投票による。)
5. 第5条 H項 1. g.  
g. カウンスルが負担すべき経費支払いのために発行するすべての小切手に連署する。
6. 第5条 H項 5. c.  
c. カウンスルへの派遣員によって承認されたカウンスルの経費支払いのため、会長の連署を得て小切手を発行する。
7. 第7条 B項 目的1. (下線部修正)  
1. カウンスルの議事を行う。
8. 第7条 D項 a. 「選挙権」を削除。「投票権」を挿入。
9. 第9条 B項 4. 会則・決議 a.  
a. ITC年次大会で採択された結果生ずるITC必須条項の変更をカウンスル会則に加え、カウンスル役員会及びカウンスル議会法規役員とともにその結果を確認する。
10. 第9条 B項 4. 会則・決議・新しく b. が加わり従来のbはcとなり順次符号が繰り下がる。

b. リージョン大会で採択された結果生ずる会則や常規をカウンスル会則に加える。

11. 第9条 B項 10. スピーチコンテスト 符号「a.」をつける。

#### 標準リージョン会則

- ※1. 第4条 財務 A項 「及びリージョンスピーチコンテスト優勝者がITC国際大会に出席する」を削除。

A項 このリージョンは独立会計とする。但し、増設費用の一部は可能な限りITC本部が支払う。

2. 第5条 E項 選挙：4 「優先投票」を削除。「選択投票」挿入。  
3. 第5条 E項 選挙：6 「に不在投票を行うことができる。」を「役員と指名委員の選挙」の後に移動させる。  
4. 第5条 H項 1. 会長は g. 「財務のために」を削除。「経費支払いのために」を挿入。  
5. 第7条 B項 目的：大会の目的は 1. 「事務」を削除。「議事」を挿入。  
6. 第9条 B項 4. 会則・決議 新しくa. とb. が挿入され、従来のa. はc. となり順次符号が繰り下がる。

- a. ITC年次大会で採択された結果生ずるITC必須条項の変更をリージョン会則に加え、リージョン役員会及びリージョン議会法規役員とともにその結果を確認する。  
b. リージョン大会で採択された結果生ずる会則や常規の変更をリージョン会則に加える。

7. 第9条 B項 6. d. (下線部修正)  
d. リージョン会長に公表のために選挙結果を報告する。

#### ITC会則 校正上の修正

- 定款 第9条 A項 B項 C項 「1945年」を削除。「1954年」を挿入。

#### ITC会則

1. 第4条 会員 A項 2. 「書記会計」を削除。「書記兼会計」を挿入。  
2. 第4条 会員 B項 2. b. 「選挙権」を削除。「投票権」を挿入。  
(第15条 F項 3. a. と4. a. も同様に修正する。)  
3. 第4条 会員 C項 2. 「ITC一般基金」を削除。「ITC通常会計」を挿入。  
4. 第5条 会計年度・歳入 C項 「ITC一般基金」を削除。「ITC通常会計」を挿入。  
5. 第5条 選挙及び役員の任務 B項 5. の次に下記の6. を書き入れ、従来の6. は符号が7. となる。  
6. 書記兼会計は最低1年間のITC役員歴があること。  
6. 第6条 選挙及び役員の任務 D項 2. e. 「5月1日」を削除。「4月1日」を挿入。  
7. 第13条 リージョン B項 2行目、3行目の「本会則」を削除。「リージョン会則」を挿入。  
8. 第13条 リージョン H項 4. 「ITC基金」を削除。「ITC資金」を挿入。  
9. 第14条 カウンシル B項 2行目、3行目の「本会則」を削除。「カウンシル会則」を挿入。  
10. 第14条 カウンシル E項 役員 1. (下線部修正)  
1. カウンシルの役員は、少なくとも会長、副会長、及び書記と会計又は書記兼会計とする。  
11. 第15条 クラブ B項 5行目、6行目の「本会則」を削除。「クラブ会則」を挿入。

#### 常規

1. 常規2. ITC宣誓の翻訳をITCマスターマニュアル(ii頁)と統一。  
2. 常規12. (下線部修正)  
12. ITC会長の歓迎会の費用は、予算に計上されたとおりとする。

#### [注]

- ① 枠内に記載した条項は、1992年版で変更になった条項です。  
② ※印は、1992年7月のITC大会で修正採択された結果に伴い、修正された条項。標準リージョン会

則の1は必須条項。

- ③ その他は日本語版の校正上の修正です。
- ④ 標準クラブ会則3. 4については前年度修正されたものですが、必須条項ですので修正して下さい。
- ⑤ ITC会則8頁最終行「2. 任務. 指名委員会は:」及び12頁最終行「つ。」が脱落しております。お書き加え下さい。
- ⑥ 標準リージョン会則、標準カウンスル会則のII頁に記載されている常規についてのロバート式議事法新改訂版1990年版のページについて問い合わせましたところ、P. 17, P. 263, P. 302, P. 307, P. 614-P. 615に訂正してほしい旨ITC本部より返事がありましたのでお知らせ致します。

## The Changes of Standard Bylaws 1992

### Standard Club Bylaws

\*1. ARTICLE V. SECTION H.5.e.

[Striking “twenty dollars(U.S.\$20.00)” and inserting “thirty dollars(U.S.\$30.00)”.]

e. On or before August 1, remit to ITC Headquarters dues of thirty dollars(U.S.\$30.00)per member, except life members, together with required number of membership statements listing officers, active members and honorary members.

[Proviso:To be effective August 1,1993.]

### Standard Council Bylaws

1. ARTICLE IX. SECTION B.4.

[Inserting a new paragraph“b.”and re-lettering accordingly.]

b. Incorporate any changes in bylaws and/or standing rules resulting from action taken at the region conference.

### Standard Region Bylaws

\*1. ARTICLE IV.SECTION A.

[Striking “and the region speech contest winner to attend the ITC convention”.]

This region shall be self-sustaining, except that ITC shall reimburse in part, if possible, the expenses of extension.

2. ARTICLE IX.SECTION B.4.

[Inserting new paragraphs“a.”and“b.”and re-lettering accordingly.]

a. Incorporate mandatory ITC changes resulting from action taken at the ITC convention and verify results with the region board and region parliamentarian.

b. Incorporate any changes in bylaws and/or standing rules resulting from action taken at the region conference.

[NOTES] mark \*: provisions adopted at the 1992 convention

mark \_: a mandatory provision

We received a notice from ITC Headquarters on the changes of the last paragraph on page iii in both sets of the Standard Region and Council Bylaws.

It should read:

Read Robert’s Rules of Order Newly Revised, 1990 edition pp.17,263,302,307,and 614-15, for information on adopting, suspending, or rescinding standing rules……

# 海外通信

## Letters from ITC

リージョン会長はじめ役員方にはITC本部から様々な通信が届いています。一クラブ員にはリージョンも本部も遠い存在です。今回は山のような通信の中からほんの一部を皆様にご紹介することによって、少しでも本部の活動とその心に親しみをお持ちいただこうと、このページを企画いたしました。

この掲載にあたりいくつか読ませていただいている間にこんな文面を目にしました。本部役員のミュリエル プライアントさんから、リージョン会長と役員宛です。

“…私達は皆様をお助けするために本部に来ております。どんな時間にでも電話なりFAXをお送り下さい。午後5時以後電話をなさる場合はスグに出られないかもしれませんが、リンリンならして下さい。時々輸送部に行っていることがあり、そこには電話がありません。私のいるオフィスに帰って来てやっと音が聞こえるという有様なものですから。この電話は留守電になっておりませんので、通話になってご損をなさることはありません。ひたすらならし続けて下さい。”

本部の積極的な姿勢が何かほのぼのと感じられる文面ではありませんか。又、マスターマニュアル日本語版完成にあたって、安堵感に満ちた新本前事務局長のお手紙に対し、'77~'78年度のITC会長、アイヨコタさんが“…日本語版を手にして、日本の多くの会員の並々ならぬご努力が偲べれます。どれだけ多くの時間と、大きな忍耐を必要としたことでしょうか。本当に有り難いことです。…”とお返事を書いていらっしゃいます。

一人ひとりの会員の目には触れないところで、心温まる通信が行き来し、それが日本のITCの発展の大きな糧となっているようです。

Elaine La Roc  
International President  
1992-1993

November, 1992

TO: Region Presidents, ITC

Congratulations on moving from the "what-am-I-doing-here" to the "no-problem-I-can-handle-it" phase. That is what's happened, isn't it? After all, we've had three (3) months! 😊

For me it's been a busy, challenging time, and for you, too, I'm sure. By now you should have received the second "Action Report" and the October all-club mailing, so you know how we're faring at the international level. We're excited and enthusiastic about the actions we're taking to "Create the Future!"

How about in your region--are you making progress toward established goals? If you are, wonderful, keep doing it! If not, why not? Are the goals realistic? Should they be revised? One-quarter into the term is a good time to take stock.

I've enjoyed chatting with those of you I've been able to reach. I hope to speak with all of you at least once during the term. Let me know if you have a preferred time that I call.

Before I close, I need a favor, please. I've heard of numerous organizing units "ready to charter;" yet, according to Headquarters, there have been only two (2) applications for charter since August! Will you please check out those "ready" units and have them submit their paperwork? Thanks!

Please don't forget that I'm as near as your phone, fax or Prodigy Service. Feel free to contact me any time. Meanwhile, I'll continue to try to reach you.

Happy holidays.

*Elaine*  
Elaine

### International Training in Communication

to REGION PRESIDENTS and MEMBERSHIP CHAIRMEN Address P. O. Box 4248

from Muriel Bryant Anahaim, CA 92803

Executive Director Subject Membership Report #1

Date October 6, 1992

Membership report for August/September 1992 is enclosed together with comparison by region for the same period. Subsequent reports will be sent:

Oct/Nov/Dec Jan/Feb/Mar Apr/May/June	First week of January, 1993 First week of April, 1993 First week of July, 1993		
Total membership to 9-30-92	12,908		
Total membership to 9-30-91	13,589		
Total membership to 9-30-90	14,149	decrease 681	
Continuing Members 1992-1993	11,896	decrease 1,241	
New members 1991-1992	12,494		
New members 1991-1992	1,012	decrease 598	
New clubs chartered	1,095		
Clubs disbanded to date	7	decrease 83	
	30		

There has been an increase of 52 life members over a year ago.

We have a total of 29 regions and 2 overseas councils, and one council-at-large in the United States until July 31, 1993.

The next report will be sent to you in January and we hope it will reflect what our president stated in her acceptance speech in San Antonio - ACTION PRODUCES CHANGE.

Signature *Muriel Bryant*

## ライティングコンテストのご案内

第2回目のライティングコンテストを昨年に引き継ぎ行います。

### 1. 英語部門

- ・フィクション (500語以上 1500語以内)
- ・ノンフィクション (500語以上 1500語以内)
- ・詩 (20行以上、30行以内)

### 2. 日本語部門

- ・フィクション (400字詰原稿用紙 4枚以上12枚以内)
- ・ノンフィクション (400字詰原稿用紙 4枚以上12枚以内)
- ・詩 (20行以上、30行以内)

11月のリージョンメールで各会長宛に応募要項及びコンテスト規則をお送りしてありますので、よくお読みのうえ、クラブ会長を通しカウンスル会長に、1月末日までにお申込み下さい。

応募申込み者には資格申告書及びコンテスト規則をお送りしますので、それにそって応募して下さい。

応募締切りは3月1日(当日消印有効)です。

多数のご応募楽しみにお待ちしております。

ご質問は

ライティングコンテスト委員長 皆川 迪子

〒730 広島市中区大手町5丁目3-12-901 (Tel 082-244-7741) まで

## 昨年度入賞者のひとこと

### ♣ 詩 部門 ♣

福山クラブ 武田 綾子

第一回ライティングコンテスト「詩」の部門において、思いもかけぬ第一位という栄誉に恵まれました。その事についての作詩の苦労話等を書くようにとのご依頼がございました。

私は常々アーネスティン・ホワイト女史についてもっと知りたいと思い、色々想像しておりました。明治37年イタリー生まれの彼女が5歳の時父の後を追ってアメリカへ渡り、長じてお見合いで最愛の人を得て23歳の時結婚、エピスコパル教会の祝福の鐘がサンフランシスコの青空に鳴り渡りました。花形女優だった彼女の当たり役は「ハムレット」のなかのオフィリア、可憐で美しい彼女の姿が私の臉をよぎります。

豊島ライティングコンテスト委員長から「カウンスルNo.4からは未だに応募がありませんが…」とお電話をいただいた時、なんとかしなくてはと思いました。当時カウンスル会長という重責にあり、又増設をひかえておりましたので小説は無理でした。詩ならば迷わずホワイト女史への想いをと、心に浮かんでくることを一気に書き上げました。推敲する程の知識もなく書いたものをそのまま投稿いたしました。考えてもどこをどのようにすれば更に良くなるのか判らないものですから。

私はITCに入ったお陰で素晴らしい方々とお友達になることができました。そして人生が豊かになりました。今までの自分では考えられなかった事に挑戦し新たな自分の発見もありました。ですからホワイト女史に対する私の想いは深まるのです。惜しみても余りある人を私共は失いましたけれど、彼女の遺志が後に続かれた先輩諸姉の御努力によって、世界各地で花開き今日の隆盛を見る事が出来たことを本当に有り難く嬉しく思っています。

## 🍷 ノンフィクション部門 🍷

九州クラブ 宇都宮 鏡子

人生では、数多くの「であい」がある。その中でも忘れられないすばらしい方との「であい」がある。今回、ノンフィクションに応募した「生命たくまし」も、故山下俊郎先生との「であい」によってはじめたものである。児童心理学の大家山下先生は、私が新卒で愛育研究所でご指導を受け、大分に疎開し高校の教師になってからも、変りないご配慮をつづけて下さった。私はここで家庭科の中の「保育領域」の重大さに目覚め、ユニークな授業形態「モデル観察授業」を試み、生徒達に、こどもの生命のたくましさを肌で理解してもらうことが出来た。これを契機として、私も生徒も「保育」に限りない興味を覚え、真剣に楽しく勉強をした。生徒の意気込みもすごく、すばらしいパワーを発揮して、大きな成果を納めた。当時の生徒達は、「生命のたくましさ」を自分達の子育て人生にオーバーラップさせ、ポリシーをもって子育てに励んでいる、との便りを受けている。

ここに、山下先生——私——生徒と云う三代にわたるコミュニケーションの流れがつづいたのである。今思っても、毎日が充実して輝いた日々であった。

今しみじみと思うことは、教師の役目は生徒に知識をつめこむのではなく、生徒それぞれの個性や才能を引き出す援助者としての任務が大切ではないかと言うことである。

ITC歴10年の私は、コミュニケーションの勉強をさせていただき、ますますその重大さが理解出来つつある。三代つづいたコミュニケーションを思う時、山下先生に限りない感謝を捧げると共に、生徒達の人生に山下先生のあたたかい流れがつづいている事を確信している。

## 🍷 フィクション部門 🍷

大阪クラブ 城本 都

この度、ライティングコンテストに入賞させていただきましたこと、望外の喜びであり又大変光栄なことと存じます。私は小説を書いて文学賞をねらうタイプではないと思って居ります。小学校五年生の時、クラスの先生にすすめられて、「簡易保険の重要性」について書いた作文が入賞したことがあります。「一家の大黒柱が…」などと大人びた言葉を使ったりしてと、苦笑してしまいます。もう三十年以上も前のことになりますが、私は円形劇場研究劇団「月光会」の研究生として、中津のけいこ場に通っていました。四、五回は舞台に立ちましたが、一つだけ脚本を書き上げました。週刊誌の記事をたよりに、一人で土佐湾に浮かぶ離島沖の島に取材に出かけました。純朴な島の長老は私のことを作家と勘ちがいしているふしがありました。一度読み合わせをと云う矢先、劇団の主催者が「オレ、東京へ行って仕事する」と、突如、劇団は解散してしまいました。とてもショックでした。淋しさをまぎらわせたくて、詩人の小野十三郎先生が校長の「文学学校」に通いました。卒業作品に詩を二、三篇書きましたが、話題にもならず、友達も出来ないまま、それっきりになってしまいました。余談ですが、「月光会」の主催者は、少しバタ臭い、ワキ役で活躍しておられる内田朝雄先生です。昨年、南座での「オグリ」、新装成った劇場「飛天」での柿落し公演で楽屋をお訪ねしました。「解散の時、『お前さんは女優にはむいてないな』っておっしゃいましたよね」と言いますと、「誰にでも云ってたんだ」とおっしゃり、傷ついていた(?)私の心は少しいやされたようでした。「海」と題した私の小品は、1978年春、私が一人でクインエリザベスII世号に乗船した時の体験をフィクション仕立にしたものです。

前半は船内の見聞記に近いものなので書きやすかったのです。クラブでコンテストの事を聞き、心の底をゆすぶられるものがあり、書いてみたい、でも駄目かな等と思い乍ら年が暮れ、1月2日に「徳川光国」をテレビで見ました。10時間にも及ぶ大作で退屈はしませんでした。時間がもったいなくて書き始めたのが10枚になりました。これはいけると後を続けたのですが、ラブシーンに苦勞したあげく、そのもののシーンは全部飛ばして何とかまとめることが出来ました。今後、出来れば、応募全作品を読ませていただきたいものと夢見て居ります。

サンアントニオ大会への会則修正案審議で  
交わされた討議、特に否定に持ち込まれた案  
件は、1993年ITCコンベンションでまた、次回  
形を変えて提案されるものと考えられます。

“ディビジョン副会長6名を2名に変更”に  
ついての修正案#5については次の様な経緯  
があります。

#5 現行文：A項、選出役員、ITC選出役員  
は会長、次期会長、第一副会長、第二副会長、  
書記兼会計、6名のディビジョン副会長から  
成る。

修正案文：A項、選出役員、ITC選出  
役員は会長、次期会長、Executive副  
会長、Senior副会長、副会長2名、  
書記兼会計1名より成る。

修正案についての問題点①Executive副会  
長、Senior副会長の任務について明記されて  
いないという質問が出た。明記されていない  
のは問題ではあるが、現行文に照らし合わせ、  
第一副会長、第二副会長ではないかとの意見  
が出、ディスカッションの後、これを仮定し  
て次の討論に進んだ。

②本修正案はITC構造委員会から提出され  
たもので、スーザン シフレット委員長(次期  
会長)から1992年1・2月号コミュニケーター  
(日本リージョンの翻訳あり)に記載の通りと  
の前置で説明があった。会員数の減少に伴い  
変化が必要であるという多数の意見に答え、  
ニュージーランドコンベンションの後のITC役員  
会で現行のITC構造を見直す特別委員会  
(Div. I～VI副会長がメンバー)が任命され  
た。ワシントンD.C.で最終委員会報告がなさ  
れ、ITC役員の数減らす事が勧告された。

私は実はこの記事を読んだ記憶がなく次期  
会長にコピーをもらいに行った。日本の会員  
には1・2月号がいつ届いているのかは判ら

ないが、オーストラリアのリージョンでも会  
則修正案が到着したにも拘らず、5月の初め  
になっても説明文の載ったコミュニケーター  
1・2月号は届かず、このような重大な問題  
に関しては世界中の会員にもっと早く知らせ  
るべきだという思いがDiv.VIの面々にあっ  
た。

③もし現行のディビジョン副会長6名を2  
名に減らす案が可決されるならば、1名は  
Div.VIからとするという条項を入れるよう修  
正を出したいという意見がオーストラリアの  
ロンダ マッケックニー元ITC会長から出さ  
れた。この修正案に最も関心を示したのは  
Div.VIの国々で、Div.VIの集まり(オーストラ  
リア、ニュージーランド、日本)では、アメリカ  
以外のメンバーが42%を占めるDiv.VIから、  
今までのように必然的に副会長が選出されな  
いのは大きな問題であるとの同意に達した。

④もしITC役員を11名から7名(36%減)に  
減らすなら、Div.からもう少し会員数に比例  
した形で役員を出したいという意見もあり、  
北アメリカの会員が重視していなかった修正  
案はDiv.VIからの面々の活発な意見により  
180対107で否決された。

ITC役員会は経費節減の観点から役員数も  
減らしたい意向で、必ずや次期コンベンショ  
ンにも異なった形で修正案が提出されること  
でしょう。我が神戸クラブでは7月14日に  
ITC会則修正案の勉強会を持った。日本リー  
ジョンの他のクラブではどれ程熱心にこの件  
を討論されたであろうか。オールクラブメー  
ルが到着すれば、カウンスル、リージョンで  
も研究会等を開き、エドモントン大会では日  
本リージョンの各クラブが意志を表明出来る  
よう、早くから準備して欲しいものである。

- Q1. 議会法規役員が会則決議委員会の委員となる(ITC議事法マニュアル)とありますが?
- A1. 議会法規役員の任務として、会則決議委員会の職権委員になります。職権委員は、他の委員と同じ権利を持ちますが、義務はなく、定足数に数えられません。
- Q2. クラブ常規の「例会を2回続けて無断欠席し、3回目も出席しない会員は、自動的に除名される」を修正するよういわれました。
- A2. 「該当会員あるいは該当クラブが、ITCより停権処分を受けたり、除名されるには、ITC役員の2/3の賛成が必要である」(ITC会則第4条B-F-3 停権・除名)とあります。出席の奨励は勿論されねばなりません、会員の身分を取り消すのは、ITCレベルということです。個々の会員の場合、クラブが調査し、カウンスルに助力を仰ぎ、それでも改善できない場合は、リージョン会長から警告が出されます。尚解決できない時に、ITCの判断を待つこととなります。自動的に除名の部分を修正されるとよいでしょう。
- Q3. 年次報告の作成は義務づけられているものですか。
- A3. 各レベル標準会則は、書記の任務として「クラブ(カウンスル、リージョン)の公式記録となる役員会の年次報告を最終例会(リージョン大会、ITC大会)のために編集する」を含めています。この報告は口頭でも、書面でも構いませんが、公式記録とするためには採択する手続きをふみます。
- 公式記録の作成は、以前は歴史委員会の任務とされていましたが、1986年に標準会則の常任委員会から歴史が削除されて以来、書記の任務に明記されています。今も歴史委員会を設置されているクラブ、カウンスルは、公式記録の作成について歴史委員会ではなく書記の任務としてあるかを確認してください。
- Q4. 議事録のファイルと朗読の時の扱いについて説明してください。
- A4. 議事録は、原本もワープロでされることが多くなりました。然し、書記の議事録のファイルは永久ファイルであり、コピーではなく、書記のサインの入った原本でなくてはなりません。原本を朗読していることを示すために、ファイルを持って朗読することが求められます。会員はその朗読を聞いた上で承認するのですから。
- ファイルの方法は幾つか考えられます。
- ・ルーズリーフの用紙に直接ワープロ印刷する。
  - ・普通の感熱紙に印刷した場合は、穴をあけて専用バンダーに閉じてゆく。
  - ・クリアファイルに入れる場合は、続き番号の頁数を入れてゆく、5-1、5-2、5-3など、いろいろ考えられますが、後になって、それが何年の何月の議事録であるかよく分かるようにしておくのも書記の心掛けと思います。
- 貴方の所属する団体の唯一の記録となるのですから。

## 浦濱輝子様をお慰して

千里クラブ 郡田 伊久子



ITC千里クラブ第4期会長、浦濱輝子様は平成4年10月18日午前8時32分急逝されました。2日前にお風邪を召され、あつというまになくられました。誰もが啞然とし、とても信じられぬ事でした。ITC千里クラブに輝子様は、お嬢様の恭子様と親子で入会され、常にお二人仲良く活発に活躍されていました。スピーチの上手な輝子様は、女学生のような仕草と独特の語り口で、私達を魅了されるのでした。たとえ反対意見であっても、人前で堂々と発表されましたが、陰で他人の悪口は決して言われない方でした。役員就任式に日頃尊敬されていた犬養孝先生の、万葉の心と題するご講演をお聞かせいただけましたのも、輝子様のご人徳の賜物です。会長として私達に提示されたテーマはすべて心暖かく、若々しく、希望に満ちたものばかりでした。今の悲しみとのあまりの隔たりに茫然と致します。これから一層深く、楽しくおつきあいができると存じておりましたのに残念でなりません。ご主人様、二人のお子様を残されてのお旅立ち、さぞやお心残りでありましたでしょう。世の中に 思いあれども 子を恋うる 思いにまさる 思いなきかな どうか安らかに眠りくださいませ。

## 木村 泰様 安らかに

飛驒高山クラブ 会長 長瀬 理々子



飛驒高山クラブチャーターメンバー、木村 泰様は平成4年7月26日、逝去されました。

何事にも熱心にとり組まれ、特技を生かしてクラブの為コサージュ造りをして下さり、優しくにこやかで独特のおっとりとした語り口で、私共若輩にも接して下さり雰囲気をご柔らげて下さいました。入院されてから三回ほどお見舞に伺いましたがいつも傍らに御主人がおいでになり、例会に出られる日を楽しみにしていらっしゃいました。快癒することなく帰らぬ人になられましたことは、クラブにとりましてとても残念なことでございます。つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

IF I CAN STOP ONE HEART  
FROM BREAKING

Emily Dickinson

If I can stop one heart from breaking,  
I shall not live in vain ;

If I can ease one life the aching,  
Or cool one pain,  
Or help one fainting robin  
Into his nest again,  
I shall not live in vain.

もしかすると私は――

エミリー ディキンソン

もしかすると私は一つの心を傷みから救えるかもしれない  
そうすれば私は無駄に生きてはいないでしょう  
もしかすると私は一つの生命の傷みを和らげ  
一つの苦しみをさまし  
一羽の疲れはてた駒鳥を助け  
巣に戻してあげられるかもしれない  
そうすれば私は無駄に生きてはいないでしょう

宝喜 力 訳

# リージョン・サロン

## リージョンへ捧げる3ヶ条

- 大会の規模が大きくなりすぎて弊害が見られる。大会の開催地、会場が限定され費用がかかりすぎる。物品販売をしなければ運営できない大会には疑問を持つ。準備に時間がかかりすぎ、それらは全て会員の負担になっている。大会が華美に流れITC本来の自己啓発からそれている部分がある。
  - 日本リージョンはITCとカウンスル、クラブとのパイプ役である筈だが、クラブ側から見ると身近なものとして感じられない。私達はより深いコミュニケーションの機会を望む。研修会だけではなく、会員の意見をじかに聞く場を作ってほしい。最優秀リージョンになる喜びよりも個々の会員が喜びを感じられるITCであって欲しい。
  - ITC本部の財政状態がよくない折から、英文のコミュニケーターを全会員に送付するより、各クラブに数冊又は希望者に限定して経費節減を図ってほしい。スピーチコンテストの規則が3年毎に変わり細かいすぎるように感じる。日本のクラブの現状にも照らし合わせてクラブ側の意見をとり上げてほしい。
- (芦屋クラブ11月例会ディスカッション「ITCに望むこと」より抜粋)  
芦屋クラブ

## 興奮の一日

東京クラブ15周年記念パーティには星野佐登リージョン会長はじめ、多くの方々がお祝いにかけつけられました。チャーターメンバーが当時のエピソードを、また歴代の会長が会長テーマとそれを選んだ理由等をご披露なされ、東京クラブの歴史の流れが良く理解出来ました。柏クラブがチャーターされた折はきめ細かいご指導をいただき、皆様の広い視野と深い知識に基づいたリーダースhipに私達はすっかり魅了されましたが、それは一朝一夕に培われたものではなく、たゆまない努力の成果であったと実感致しました。

ハイライトのビンゴゲームでは私は何とラッキー!!一等を獲得しました。商品のロイヤルコペンハーゲンのイヤープレイトを眺めるたびにあの時の興奮が蘇ります。

柏クラブ 藤原 雅子



## 感謝の一日

前日の雨もすっかり止んで師走というのに暖かい12月2日、奈良ロイヤルホテルにて160名出席のもと10周年記念祝典と例会が行われた。祝典のハイライトは、10年皆出席者福本弘子さんおひとりの表彰式。29名のメンバーから贈られたお祝いの言葉がとても感動的であった。プログラムは外部からのお客様による「スピーチありがとう」。社会で活躍しておられるそれぞれの立場から「今、私は」という論題で5分間スピーチをして頂いた。スピーカーは20代から60代で、そのうち外国人が3名。バラエティに富んだスピーチは聴衆の心をつかんだようだ。そのあと「ザ・奈良クラブ」というタイトルで奈良クラブの歴史の一端を、オールキャストでミュージカルを演じ、終始笑いの渦に巻かれた。ティータイムの後はクリスマスキャロル。グラハムご夫妻の天使のような響きに余韻を残して幕をとじた。大勢のお客様と一緒に楽しくお祝いできましたこと、感謝の心いっぱいです。

奈良クラブ会長 稲田 礼子





あれこれ

Please read !

☆役員名簿の訂正及び変更のお願い

1. リージョン会長 住所変更  
星野佐登 〒225 横浜市緑区荏田西3-20-12 Tel 045-911-2382  
FAX 045-911-2382
2. リージョン会報編集者 電話番号訂正  
関 稔子 03-3395-3679 → 03-3395-8679
3. カウンسلNo.1 東山クラブ会長 電話番号訂正  
村本かをり 0568-86-4406 → 0586-86-4406
4. カウンسلNo.2 阪神クラブ第一副会長 住所変更  
南部紀代美 〒665 宝塚市武庫山2丁目1-19  
Tel 0797-74-8032  
FAX 0797-74-7724
5. カウンسلNo.2 イースト神戸クラブ役員変更  
会 計 長島絃子 → 田代律子
6. カウンسلNo.2 六甲クラブ第一副会長 住所の番地訂正  
村上玲子 〒650 神戸市中央区港島中町6-14 D-1036→D-1306
7. カウンسلNo.4 安芸クラブ役員変更  
第二副会長 西山静子 → 高橋江美
8. カウンسلNo.4 岡山市の市外局番と局番の変更  
市外局番 0862 → 086  
局 番 頭に2をつけ三桁とする。(例) 086-213-4567
9. カウンسلNo.5 千里クラブ役員変更  
会 長 浦浜輝子 → 木谷光代  
第一副会長 木谷光代 → 浦浜恭子
10. カウンسلNo.7 境クラブ会長 電話番号変更  
池淵美津子 0859-42-2031 → 0859-44-3054
11. カウンسلNo.8 青山クラブ役員変更  
書 記 石垣弘子 → 野村郁子

☆会報3号・4号にどんな記事をお望みでしょうか？

31頁の原稿用紙をそのままお使い下さい。折りたためば封筒に早替り。会報へのご意見はもとより、日頃考えていらっしゃる事、感動したこと、今年の抱負、珍しい或いはヘルシーな料理メニュー、etc. etc.。絵や、すてきなイラストも、是非お送り下さい。楽しみにお待ちしております。

☆お詫びと訂正

リージョン会報 Vol.11 No.1  
P. 4 見出し Officers → Officers  
裏表紙 Cleave → Create



## 第11回 日本リージョン大会

「京都」 1993年6月3日～4日

大会準備委員長 小谷 貞子

1993年の新しい年が明けました。日本リージョンのメンバーの皆様はそれぞれに、新しい年への期待と抱負に胸をふくらませていらっしゃいますことと存じます。まだまだ先のことと考えていました第11回日本リージョン大会は、もう4ヶ月の目前に迫ってきて、私共カウンスルNo.6の準備委員会もいよいよフル回転の時を迎えました。

「和顔・愛語」と星野会長が掲げてくださいました大会テーマは、コミュニケーションのトレーニングを目的とするITCのリージョン大会にまことにふさわしいものと存じます。更に、京都での大会ということで、御参加くださいます皆様の御期待に答えて、会場にも、食事にも、エンターテイメントにも、もちろん観光案内にも京都らしさを盛りこみたいと、各委員会は張りきって居ります。会長は又、約70クラブを擁するにまで発展したリージョンの年次大会を運営するに当って、合理的に簡素化を、すなわち準備委員会の負担があまり大きくないようにと、お気遣い下さっています。そのお気持ちを嬉しく頂戴し、智恵を出し合って「楽な運営」を目指しています。準備委員会の一部をカウンスル例会で募る、多勢で大会準備に当る、登録受付にコンピュータの力を借りる、又、ホテルの協力をできるだけ活かすことなどです。従来の手続きと多少変わりました部分もございますので、本誌をよくお読み頂いた上、御協力をお願い致します。又、大会運営が少しでも楽に運びますよう販売物品の御購入にも御協力ください。

リージョン大会には、お一人で多くの方がご出席くださり、有意義な2日間をお持ちくださるだけでなく、充分くつろいでお楽しみいただけますようカウンスルNo.6の一同は心をこめて準備を進めてまいります。6月3日、4日は京都グランドホテルが和顔愛語で一杯になる様子を心に描きながら――。



絵・澤田絹子(奈良)

# 第11回日本リージョン大会プログラム予定表

## Japan Region 11th Annual Conference Program Plan

京都グランドホテル

Kyoto Grand Hotel

6月2日(水) June 2 (Wed.)

9:45~10:00	リージョン運営研修会受付	Region Management Training Registration
10:00~12:00	リージョン運営研修会	Region Management Training
12:20~12:50	カOUNSル運営研修会受付	Council Management Training Registration
13:00~16:00	カOUNSル運営研修会	Council Management Training
16:15~18:15	リージョン運営研修会	Region Management Training

6月3日(木) June 3 (Thu.)

8:30~9:45	登録受付	Registration
9:00~9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00~	開会式	Opening Ceremony
10:40~	ビジネス ITCインフォメーション	Business ITC Information
12:00~	昼食 選挙(派遣員のみ)	Luncheon Election (Delegates only)
13:00~14:30	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
~14:40	選挙結果発表	Election Report
15:00~16:30	教育セッション A) 外部講師 1部門 B) 会員リーダー 4部門	Training Session A) 1 Lecture (Guest) B) 4 Workshops (Members)
17:00~17:20	晩餐会 受付	Banquet Registration
17:30~	晩餐会 交替式、舞楽	Banquet Installation, <i>Bugaku</i>
~20:30		

6月4日(金) June 4 (Fri.)

8:45~9:05	登録受付	Registration
9:10~10:30	ビジネス	Business
10:50~12:30	教育セッション C) 外部講師 2部門 D) 会員リーダー 4部門	Training Session C) 2 Lectures (Guests) D) 4 Workshops (Members)
	昼食	Luncheon
14:00~15:50	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:50~	報告、表彰 クロージングソート	Announcements, Awards Closing Thought
	閉会	Adjournment

※今後、時間、内容の変更があるかもしれません。ご了承ください。会報3号でお知らせします。

教育セッションへのお申込みをお待ちいたします

リージョン第一副会長 今井千代子

6月3日、4日、京都で開催されるリージョン大会のプログラムをお知らせいたします。

年一回の、限られた時間の貴重な機会を有効に使うため、ITCでどうしても必要な部分は、また大会でこそ得られる水準は、と検討しました。

リージョン大会のプログラムには何が必要でしょうか。会員の皆様のご希望は何でしょうか。皆様が年一回の大会に期待し、欲していらっしゃるもの、興味をもって頂けるものと、プログラム・教育委員会が必要と信じたもの、得て頂きたいと思ったものと一致することを切望しています。

大会テーマは“和顔愛語”。

それと共に、プログラムテーマを作り、“ことば”に焦点をあてます。並行進行するプログラムをよくご覧の上、お申し込みください。時間、進行、内容に変更の生じた場合は、会報3号に掲載いたします。

教育セッション申込の要領

申し込み、変更、取り消し、問い合わせは、全てクラブ会長の責任でお願いいたします。

教育セッションに関して、連絡の必要がある場合は、クラブ会長宛にいたします。

☞ 申込みについて

会報26頁、教育セッション申込み券に第一希望、第二希望その他必要事項を記入の上、コピーを取り、クラブでまとめて、そのコピーを提出してください。

(教育セッション申込み手続きは、これだけです)

希望人数によって第二希望になった場合は、何卒ご了承ください。

☞ 変更・取消

特別の事情で、変更または取消の場合は必ず葉書を使用し、右のように記入してお届けください。

☞ 締切日

4月10日

☞ 申込み先

今井 千代子 (リージョン第一副会長)

〒194 東京都町田市南大谷912-41

☎0427-28-1733

月 日

大会教育セッション変更(取消)届

カウンスル名\_\_\_\_\_クラブ名\_\_\_\_\_

氏名\_\_\_\_\_

[ワークショップ名]→[ワークショップ名]

理由

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

# 教育セッション一覧表

1993年6月3日(休) 15:00~16:30

A-1	講演と朗読	一葉の魅力 -ことばの美しさ- 幸田弘子 俳優 文部省国語審議会委員	-「朗読の場合、ことばが全てです。それを聞き手に渡すだけ」- 文字から彫り起こされた日本語の真の美しさを聞く。芸術祭賞、芸術選奨文部大臣賞受賞の第一人者による朗読。
B-1		イレーン ラ ルー ITC国際会長	日本の会員にとって価値あるものを予定。ご期待下さい。
B-2	ワークショップ	京ことば 阪本東久子 (平安)	柔らかな独特のリズムと響きを持つ京ことば。映画、テレビの方言指導者・原田玲子先生のご協力を頂いて、日常の京ことばを聞き、楽しみ、覚える。京都大会のお土産としてお持ち帰りください。
B-3	ワークショップ	“知りたいセミナー” 議事法初級 小林 令 (東京)	ITC会員となって、最初妙に堅苦しく取りつきにくく見えるのが議事法の関門。しかし、くぐってみると意外に興味深いバラ色の世界がそこにあるのです。一緒に議事法探索の第一歩を踏み出して見ませんか?
B-4	ワークショップ	即興スピーチ入門 新宮雄子 (米子マンデイ)	“ことば”は、心のひびき一言葉は発する人の「人、そのもの」といわれています。見て、聞いて、触れて感じたこと、心から感動したことが“ことば”で表現できたら…即興スピーチの始まりです。

1993年6月4日(金) 10:50~12:20

C-1	講演	レトリックの ファッション性 小久保 實 帝塚山学院大学教授	私たちが自分の認識を正確に表現しようとする、つい常識的なものに押し流されてしまう。ことばには「香料のひびき」があってもいいはず。新鮮な感覚で、ことばの花びらをみつける。いろいろな文学作品を見ながら-
C-2	講演	時代は Key wordをもっている 伊志峰 正廣 電通京都支社支社長	戦後テレビの発達により、「ことば」はテレビというメディアを通して全国に伝えられるようになった。コミュニケーションのかなめとしてのことばが、時代のキーワードとなる条件について考える。
D-1	ワークショップ	雑学からのユーモア 秋山美代子 (芦屋)	人生で笑う回数の少ないのはふしあわせ。耳から目から獲えた話を、より楽しい話題に変身させましょう。笑いも哲学、など難しいお話はなし。
D-2	ワークショップ	評価の効果 効果ある評価 石川祥子 (葵)	私たちは、日常、他人から正しく評価されたいと願っています。それは、私たちも他人を正しく評価する努力をしなければならぬことを意味しています。明るい、健康なことばを通して、評価を考え直してみましよう。
D-3	ワークショップ	国際社会の儀典 武田綾子 (福山)	あらゆる面で国際化が進む今日、私達がどうしても知っておかなくてはならないのがプロトコールです。ITCの儀典をひもときながら世界共通のルールや一般的な知識など、必要なエチケットやマナーを学びましよう。
D-4	ディスカッション	“Create the Future” 未来を創造する リージョン 長期方針研究委員会	ITC、日本リージョンのより良い未来はあなたの手によってつくられます。討論を通じて、みんなで考えていきましょう。

Thursday, June 3, 1993, 15:00~16:30

A-1	Lecture and Oral Reading	<b>Ichiyō and Her Works -Elegance of Her Language-</b> Ms. Hiroko Koda, Actress and Member of the National Language Council, the Ministry of Education	"When you give a reading to the audience, language is everything." A golden chance to appreciate genuine beauty of Japanese language. An oral reading by the authority who has been awarded many prizes.
B-1		Elaine La Rue ITC International President	Scheduled to give us either a workshop or a lecture which is valuable for members in Japan. Please look forward to it.
B-2	Workshop	<b>'Kyo Kotoba' -Kyoto Dialect-</b> Tokuko Sakamoto (Heian)	'Kyo Kotoba' has soft and unique rhythm and sound. With the kind help of Mrs. Reiko Harada, a dialect instructor for movie and television actors and actresses, we will enjoy listening to her daily 'Kyo Kotoba' and learn to speak it. How about carrying it back home as a souvenir of the conference in Kyoto?
B-3	Workshop	<b>"Wanna Know's" -Parliamentary Procedure for Beginners-</b> Rei Kobayashi (Tokyo)	At first parliamentary procedure seems to be very hard -and- fast for a new member. But once you start studying it, you will find it very interesting. Let's take a step forward to explore parliamentary procedure.
B-4	Workshop	<b>An Introduction to Impromptu Speech</b> Yuko Shingu (Yonago Monday)	"Language" is a sound of one's heart. - Language is said to be "the speaker's personality itself." If we could express with our own words what we see, hear and touch, and what moves us deeply ... Let's study how to make an impromptu speech.

Friday, June 4, 1993, 10:50~12:20

C-1	Lecture	<b>Fashionable Characteristics of Rhetoric</b> Mr. Minoru Kokubo, Professor at Tezukayama Gakuin University	When we try to express what we understand accurately, we are apt to follow an ordinary expression. Language could have a touch of spice. With fresh sense the lecturer will introduce you examples of good and spicy expressions selected from various literary works.
C-2	Lecture	<b>The Key Word of An Age</b> Mr. Masahiro Ishimine, Head of Dentsu Kyoto Branch Office	With the development and popularization of television since the end of World War II, 'language' has been conveyed all over Japan through the medium. What conditions are necessary for language to become the key word of the age?
D-1	Workshop	<b>Humor in Daily Life</b> Miyoko Akiyama (Ashiya)	Life with little humor is monotonous. What you see or hear in daily life can be changed into a more enjoyable topic. I don't mean to say, "Humor can be included in the field of philosophy." Let's not take it too seriously.
D-2	Workshop	<b>Effects of Evaluation, Effective Evaluation</b> Sachiko Ishikawa (Aoi)	In our daily life we wish to be evaluated correctly, which means we are asked to try to evaluate others fairly. Let's study and reconsider what a good and favorable evaluation is.
D-3	Workshop	<b>Protocol in International Society</b> Ayako Takeda (Fukuyama)	Today internationalization is going on and on in many ways. Protocol is a must for us to know. Let's check ITC protocol manual and study common rules and general knowledge on protocol throughout the world.
D-4	Discussion	<b>"Create the Future"</b> The Long Range Planning Study Committee (Japan Region)	The better future of Japan Region will be created by the efforts of all the members. Let's discuss and think about it.

# 教育セッション申込み券

Training Session Ticket

6月3日 June 3	教育セッション Training Session	15:00~16:30
会員 Member	第1希望 First Choice [            ]	第2希望 Second Choice [            ]
カOUNスルNo. Council No. _____	クラブ名 Club _____	会員氏名 Name _____

6月3日 June 3	教育セッション Training Session	15:00~16:30
ゲスト Guest	第1希望 First Choice [            ]	第2希望 Second Choice [            ]
氏名 Name _____	紹介者 Introduced by _____	カOUNスルNo. Council No. _____
		クラブ名 C l u b No. _____

6月4日 June 4	教育セッション Training Session	10:50~12:20
会員 Member	第1希望 First Choice [            ]	第2希望 Second Choice [            ]
カOUNスルNo. Council No. _____	クラブ名 Club _____	会員氏名 Name _____

6月4日 June 4	教育セッション Training Session	10:50~12:20
ゲスト Guest	第1希望 First Choice [            ]	第2希望 Second Choice [            ]
氏名 Name _____	紹介者 Introduced by _____	カOUNスルNo. Council No. _____
		クラブ名 C l u b No. _____

# 第11回日本リージョン大会準備委員会[カウンスルNo.6]

## 11th Region Conference Committee

大会コーディネーター 小谷 貞子(京都)  
 コ・コーディネーター 大野 三恵子(京都)  
 西田 富美子(平安)

ホステスカウンスル会長 寺内 紗智子(都)

1993年6月3日・4日 京都グランドホテル

委員会名	委員 (クラブ)	委員会名	委員 (クラブ)	委員会名	委員 (クラブ)
大会会計	*高橋雅子(平安) 西田富美子(平安)	名札 リボン	*下西陽子(奈良) 井岡禎子(奈良) 森実美枝(奈良) 山野逸子(奈良) 三井武子(奈良)	インフォ メーション	*金原主枝(奈良) 大橋礼子(平安) 中川千恵子(北摂) 皆藤幸子(都) 藤井典子(鴨川) 小澤 恵(鴨川) 埜口かず子(奈良)
登 録	*岡 真規子(京都) 田中里枝(京都)				
登録会計	*園城保子(都) 桑原弘子(都)	儀 典	*常田道子(京都) 大藪京子(平安) 端 美智子(都) 川本澄子(北摂) 山田悦子(サタデー)	ページ	*中須智子(平安) 岡本明子(京都) 源六真由美(奈良) 三村希代子(サタデー) 南野尚子(サタデー) 白倉真美(琵琶湖)
食 事	*林 達栄(平安) 立石峯子(京都) 北丸幸子(都)				
宿 泊	*長尾悦子(都) 三村敦子(都)	接 待	*小山孝子(京都) 岡野淑子(京都) 加藤朗子(京都) 内海瑛子(平安) 黒田昌子(都) 福本弘子(奈良) 久富美代子(北摂) 岡本邦仁子(サタデー) 宮崎光子(琵琶湖) 寺内紗智子(都) 中川愛子(京都) 藤原いと(平安) 楠 成子(都) 稲田礼子(奈良) 高城良子(北摂) 北野代志重(サタデー) 大南純子(琵琶湖) 中村慶子(鴨川)	写 真	*城山博子(平安) 高橋美智(平安) 倉斗秀子(平安) 向井久恵(平安)
キット	*大藪省子(京都) 近松淳子(京都) 井上丹規子(京都) 北川淑子(京都) 前川栄子(京都) 松川喜与(京都) 多田景子(京都) 高木清子(京都) 岡田光子(京都)				
会場 備品	*続木智子(平安) 安達寿子(平安) 山田千恵子(京都) 井筒恵美子(都) 今井伸枝(北摂) 谷本実穂(サタデー) 目片ミヨ子(琵琶湖)	ホスピ タリティ	*葛野夏子(平安) 野村美智子(京都) 西村温子(平安) 都間和子(サタデー) 大島雅子(琵琶湖)	広 報	*西原久美子(都) 続木芙美子(都)
受 付	*東浦正子(奈良)中野知子(奈良)豊浦雪子(奈良) 藤井次子、長谷川美帆、林陸代、上山きよ子、金田孝子、神波順子、室 祥子、 永井まゆみ、中村泰子、西堀久美子、西村明美、西村文子、上田喜美子、(以上鴨川)	エンター テイメント	*藤原文子(都) 西阪宣枝(京都)		

# 日本リージョン大会登録及び食事申込書

## Registration & Meal Reservation Form

### 会員申込書

日付のところに○印を入れてください。  
役職兼任の場合は上部レベルを記入して下さい。

カウンスルNo.		フリガナ	現 役 職 名
クラブ		会員名	
出席日	3日	登録費 5,500円	円
	4日		
食事予約	3日	昼食 3,800円	円
		晩餐会 10,000円	円
	4日	昼食 3,800円	円
欠席		欠席会員協力金 1,000円	円
合 計 金 額			円

- ☆必要事項を記入し、コピーしたものにお金を添え、クラブ会計にお申し込み下さい。
- ☆ゲスト用申込書のたりない場合は、コピーしてお使い下さい。
- ☆申込締切日：1993年4月10日（5月15日以降の取り消しは返金できません。）
- ☆申込締切後の変更がある場合は、必ずクラブ会計を通り、書面にてご連絡下さい。
- ☆登録申込書送付先、及び登録費振込先はクラブ会計のお手許にあり、大会準備委員会との連絡は、クラブ会計にお願いしてあります。

### ゲスト申込書

日付のところに○印を入れてください。

カウンスルNo.		フリガナ	フリガナ
クラブ		紹介者名	ゲスト名
出席日	3日	登録費 2,000円	円
	4日		
食事予約	3日	昼食 3,800円	円
		晩餐会 10,000円	円
	4日	昼食 3,800円	円
合 計 金 額			円

登録委員長     岡 真規子（京都）  
登録会計委員長   園城 保子（都）  
食事委員長     林 達栄（平安）

# ホテル宿泊申込書

Hotel Reservation Form

カウンスルNo.	フリガナ	大会関係役名
クラブ	会員名	
部屋タイプ:	同室代表者名(クラブ名):	
宿泊希望日: 6月2日、3日		宿泊日を○で囲んで下さい。

宿泊委員会では京都グランドホテルの予約をお世話いたします。

〒600 京都市下京区堀川塩小路角 (J R 京都駅徒歩7分) ☎075-341-2311

ホテル名	部屋タイプ	料金(1名分)	備考
京都グランドホテル	シングル	13,500	30室のみ
	ツイン	11,000	
	ツインのシングル使用	16,000	
	トリプル(洋室)	10,000	
	4人室(洋室)	9,000	

上記の料金はI T C特別料金になっております(税・サ込み、朝食付)。

★申込み案内

- 5月1日以降の変更(キャンセル、追加等)は、直接ホテルに連絡交渉してください。
- キャンセル料は、9日前から2日前まで20%、前日80%、当日(不泊を含む)100%です。
- チェックイン(1:00P.M.)チェックアウト(11:00A.M.)は各自でお願い致します。  
チェックインについては、P.M.4:30迄はホテルフロントで、それ以降は2階廊下のITC専用チェックインデスクで手続きをお願いいたします。
- シングル室数に限りがありますので出来るだけ同室利用をおすすめいたします。  
同室を利用して頂ける方々は、同室代表者の氏名と、クラブ名を記入してください。是非ともシングル宿泊をご希望の方は京都タワーホテルをご利用ください。

★宿泊申込書は点線上部をコピーし(登録とは別に)クラブ会計にご提出ください。

★申込み締切日:1993年4月10日 厳守

★京都タワーホテルの申込みは各自でお願い致します。

京都タワーホテル 〒600 京都市下京区烏丸通七条下ル ☎(075)361-3211

J R 京都駅正面(会場へ徒歩7分)

シングル:10,000円(サ込み、朝食付、但し税別)

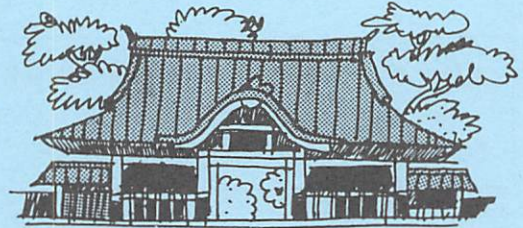
宿泊委員長 長尾悦子(都)

## 京都・奈良の観光案内 Sightseeing & Traffic Guide

今回は古都京都で大会が開催されますので、特別に観光案内にも力が入ります。更に隣接する奈良も含め、大会御参加の方々にとっては、日本の歴史を振り返るすばらしいチャンスでもあると存じます。皆様に2つの古都を散策していただきたいとスタッフ一同心をこめて御案内いたします。

御案内の内容は、

- A 一般名所旧跡
- B 観光ルートにない特別の場所
- C グルメ案内
- D お買物、特産品案内
- E 観光バス



それぞれのコピーを数十部ずつ観光案内デスクに御用意いたします。その中の、京都、奈良のグルメマップ、観光マップはキット袋に入れて、全参加者のお役に立てたいと思っております。

観光バスも各会社により一日コース、半日コースとも沢山組まれています。大会当日のデスクに取り揃えておきますのでどうぞ御利用ください。

お時間が許しましたらもう一泊なさいまして、思う存分緑の古都を満喫なさいますことをおすすめいたします。タクシー観光もごさいます。観光に関することは何なりと下記の3名にお尋ねください。

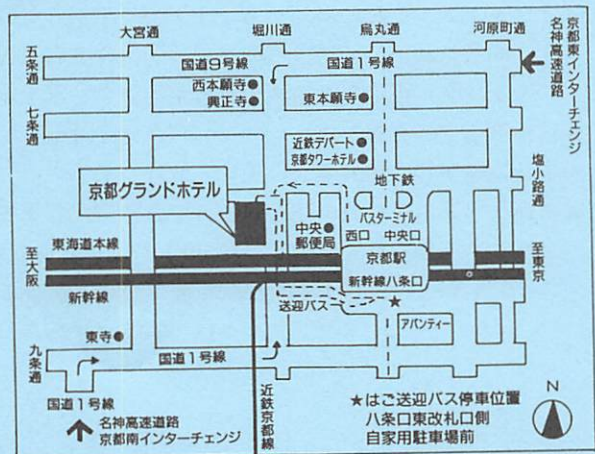


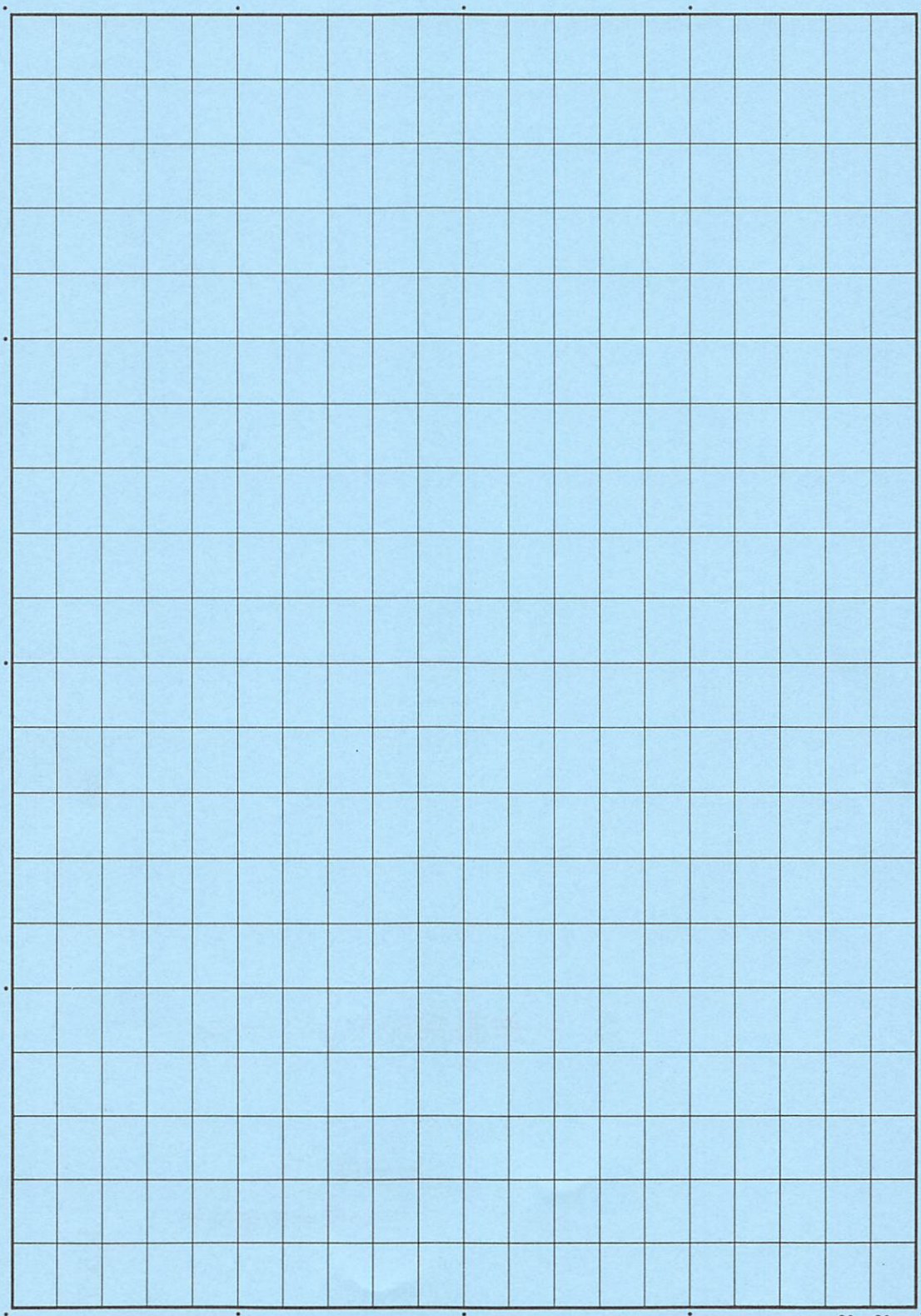
### 観光委員会

- |     |              |                  |
|-----|--------------|------------------|
| 委員長 | 鈴木みつ子 (サタデー) | 電話: 075-781-0112 |
|     | 佐藤和子 (奈良)    | 電話: 0742-46-7921 |
|     | 西田明代 (サタデー)  | 電話: 075-821-2277 |

## 京都グランドホテルへの交通案内

- 京都駅から西へ歩いて7分
- ご送迎バスサービス (無料)
  - 京都グランドホテル⇄京都駅南側(八条口)東改札口付近
  - 京都グランドホテル発
    - 8:00~21:00 15分毎
    - (ホテル発 00・15・30・45分)に毎日運行
    - 駐車場の表示はございません。
    - ★印付近に発着
- 大阪国際空港からバスで60分





20 × 20

167

東京都杉並区今川二―二―十八

関 稔子 方

リージョン会報編集室 行

切手

## 編集後記

♡もういくつ寝るとお正月…と指折り数えた幼い日を思い出し乍ら新年を迎えました。第二号は新春号。リージョン役員の素敵な年賀状に日頃遠い存在の方々の顔が見えましたか？

- 寄稿をお願いしたDiv. VI副会長からは遂になしのつぶてで、その穴埋めに四苦八苦。コミュニケーションの基本的ルールが疎かにされるとは残念至極。いつも期日を守って下さる日本の皆様に、深謝いたします。
- 「去年今年 貫く棒の如きもの」(虚子) 多事多難な一年を振り返り“心”の大切さを痛感。今年も五人衆心を合わせ、読まれる会報づくりに励みます。

♣一号を出した後のゴマメの歯ざしり。

- 批評することは易しい。高い理想を持つことも易しい。理想を実現することは至難だ。
- 同じクラブの人でさえ感想を述べてくれた人は、ほんの一握り。人徳の無いせいとか、それほど一般会員が無関心なものを作っているのか、考えてしまう。
- 何かすると追っかけて来て自分の感想を述べてくれる人が外国人に多い。これは単に“習慣”と言うよりは“社会性”と言いたい。
- そこで新年の決意。次期リージョン会報一号が出た折は、編集者に必ず勇気づけをしようと。

◇はるか彼方に浮かんでいる飛行船の広告の文字は一瞬に読み取れるのに、新聞・電話帳の文字は読みにくい。そんな眼にreading glass(老眼鏡と呼ばないで)をかけ、さらに拡大鏡を手に、校正原稿に目を通す。原稿の中の気にかかる言葉を広辞苑でひいてみる。載っていない。本来無かった言葉であり、あまり美しい表現とは思われないのに、昨今のテレビ・雑誌などでしばしば見聞するものがある。言葉とは、時代と共に消えたり定着したりして行くものなのかと考えこむ。これまで何気なく手にし、ざっと目を通して面白そうな所しか読まなかった会報も、その陰では一字一句、点一つに至るまで実に細かい気配りがなされていた事が始めて解った。今までの編集の方々、ありがとうございました。

リージョン会報編集室 関 稔子(東京)  
遠藤万寿美(青山)  
小林 令(東京)  
松下 夙人(〃)  
大屋 奈々(〃)

---

1993年1月20日発行  
発行：|TC日本リージョン  
印刷：株式会社山下印刷

*Make a Better Tomorrow  
with an Open Mind.*

*Create the Future*